

第4回佐世保市子ども・子育て会議 議事録（要約版）

日時：平成26年1月24日（水）19時～20時50分

場所：佐世保市中央保健福祉センター8階「講堂」

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
議題1 子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査等の結果（速報）について	
市独自の計画については、委員の意見、グループインタビュー及び集計中の自由意見を分析して立てていくとのことだが、グループインタビューについて説明してほしい。	- 教育・保育の量については、市民アンケート調査の集計によって出すが、それ以外の必要な支援についてはアンケートでは聞き取れない部分がある。対象団体はまだ検討中だが、障がい児のお子さんをお持ちの家庭、子育て支援のサークル、児童センター関係、児童健全育成関係、子どもの遊びに関する活動をされている方などを想定している。教育・保育の量というよりも、質の問題であり、佐世保市としてどのような支援・取り組みが必要かということを知りたいと実施するもの。 - その他、教育・保育の量について、需要と供給の観点から、施設に対して実際どれくらい対応できるかという点について、ヒアリングを実施したいと考えている。 【会長】 - 無作為アンケートなので、例えば障がい児の保護者の意見などは少数しか上がってこず、その問題性が明らかにならないという課題があるので、別の方法でニーズを掴めたいと思う。
- いいアンケートだった。働き方に関する質問を入れていただいて、市民に働き方や育児休業等の制度について啓蒙ができ、本当に良かったと思っている。 - 今からこのアンケートをもとにして議論が始まるが、これを参考にして詰めた意見を言っていきたい。 - 障がい児について、幼稚園・保育所等の施設型において受諾義務が課せられる可能性がある。人員配置などの課題があるので、総合的に考えなければならない。色々なケース、事情があるので、それを踏まえながら今後子育て会議等で議論していただければと思う。	- アンケートというのは数字だけでは計り知れないものがある。それぞれの施設において抱えている障がい児の保護者を始め、保育をしている幼稚園、保育所、児童クラブなど、そういう現状を施設ヒアリング等で聞き取れたらと思っている。 - ご回答いただいた48.2%の方々というのは、想像するに、これを回答する意識が高い方であり、膨大な量のアンケートに対応する時間を持つことができた方と捉えるべきところがある。回答しなかった方々についても踏まえて皆様方にはご議論をいただきたい。委員の皆様は現場で接しており、そういう広い視野でご発言いただきたいと思うし、その広い視野と現場の意見、アンケートを組み合わせながら、最終的には計画に組み込んでいく必要があるという認識を持った。 【会長】 - 感想を申すと、意外にも働いている方の比率が少ない。その影の少ないニーズについては、それを絶対無視した

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
	り、漏らしてはいけない。ニーズが例えば 5%でも 10%でもあれば、それを拾いあげることが大事。数字に埋もれてしまうことに注意しなければならないと思う。 ・私の専攻分野である社会福祉の領域においても、掴めない人にこそ 1 番深刻な問題があるということが言われている。本人が声を上げないところのニーズをキャッチすることが大事。
・放課後児童クラブアンケートについて、全小学校区でアンケートを実施したということについて非常に喜んでいる。 ・学童保育は、大変ニーズが高くなっており、定員をオーバーしているところがある。また、ニーズに地域差があり、これからの作成する事業計画・条例においては、現状をきちんと踏まえて欲しいと思う。 ・分科会において議論し、できるだけ子ども達・お母さん達が安心して子育てをでき、少子化に歯止めをかける、そういう学童保育を目指していきたいと思っている。	(特になし)
・資料 1・P92 の母親の育児休暇を取得していない理由について、職場の雰囲気 が 21. 9%となっており 企業側としても今後改善をしていかなければならない。 ・資料 1・P97 の制度等の認知度について、育児休業制度が 77. 9%となっているが、これを 100%に近くなるように進めていかなければならない。 ・資料 1・P98 の育児休暇後の職場への復帰の有無について、職場復帰が 80. 3%となっている。やはり、職場に復帰していただくというのは、私どもにとっても戦力として重要なことであり、とても良い事だと感じた。	(特になし)

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
議題2 子ども・子育て支援事業計画策定に係る今後のスケジュールについて	
・分科会で専門的な内容になると思うが、国の分科会においては子ども・子育て会議のメンバー以外に専門家を何人か入れている。佐世保市はただ単に子ども・子育て会議のメンバーを振り分けただけなので、重点的・専門的に話が煮詰まるかという疑問がある。 ・分科会の会議の回数をもう少し増やして、綿密かつ詳細に検討したほうがよい。	・分科会の開催回数については、大まかに等しく設定したものであり、その分科会において会議を充実させた方がいいと判断した場合は、皆様のご意見をお伺いしながら回数等も調整していきたい。 ・委員外の専門家については、佐世保市子ども・子育て会議条例により、必要に応じて委員以外の方に会議への出席を求め、意見聴取や資料提出をお願いすることができる。会議の中でそういった意見が出れば、この規定で対応できると考える。
・学童保育の関係で、条例づくりのプロジェクトチームを作っており、県全体でも勉強会も実施されている。そういったメンバーに分科会に参加してもらい、資料を出してもらいなど、現場の状況が分かる人を会議に参加させていきたい。	・分科会の中でご意見を伺いながら出席を求めている。
・分科会で議論を活発にするという方法でいいと思う。このような全体会議では意見をいう委員に隔たりがみられる。 ・専門家についてはその分科会の中で必要とあればというところで事務局の説明で十分理解できた。	【会長】 ・分科会に分かれて議論をし、各分科会においては必要に応じて専門家に資料を求めたり、会議に参加頂くことで充実した会議を行っていく。回数についてはたくさん重ねる事は大いに良いと思うので、時間・回数を重ね、より良い制度を作るためにご努力をいただきたい ・私は、分科会に必要に応じて参加できることとなっているので、できるだけ参加して勉強させていただきたいと思っている。 ・虐待の問題などを取り上げるCの分科会に、例えば児童相談所、児童養護施設、里親の方等を必要に応じて呼んだ方がよい。
・分科会の会長は集まって互選をするか。それとも、事務局から提案があるのか。	・分科会の中で分科会長と副分科会長を決めていただくことになるが、今のところまだその案はない。最初の分科会で相談させていただきたい。
・分科会で話をするというのは大変良い方法だと思う。 ・分科会の開催前にデータ等の参考資料を送付いただき、佐世保市の取り組みや現状を予習しておきたい。	・了解した。今までは大まかな佐世保市の事業内容しか話していない。分科会においてはもっと密に議論を詰めていかなければならないので、事務局から色々な数値やデータ等の資料を示して協議していけたらと思う。

質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
・分科会の開催については賛成である。 ・時間帯については、全体の会議と同様に平日の夜から2時間という限りになるか。	・全体の会議については夜にしか出ることができないという方がいるので、19時からという時間設定をしている ・昼に動ける方が多いということであれば、昼の時間帯で開催したいと思う。 ・分科会の開催について事務局から紹介するときに、併せて開催時間について希望をお尋ねしたいと思う。 ・もし、希望の時間帯があれば事務局に教えてほしい。
・分科会の日程はどのように決めるのか。 ・他の分科会の予定も事前に教えてほしい。聞くだけでも勉強になる。	・示しているスケジュールと国の状況を見て、事務局から事前に5パターンほど日程案を示して、出席できる委員の方が1番多いところで決めていきたい。 ・分科会の開催日時はホームページ等でお知らせするが、委員の皆様に事前にお知らせしたい。
・資料5について、フルタイムで働く人が標準保育時間、パートの人は短時間というように2通りに分けられている。これは保育ニーズを幅広く拾うということと考えてよいのか。制度がより複雑化し、事務も煩雑になり、混乱するのでは。市としてはどう考えているか。	・国から8時間と11時間という数字（案）しか示されていない。市としても色々なパターン分けをすることになるし、それに対応する保育所も枠分けをすることになる。 ・この計画は、地域の実情に応じた計画なので、分科会等で詰めて、どういうパターンが1番いいのかということを決めていければと思っている。 ・ただ、国が基準を出してくれば、市としてもある一定のところまでは従わなければならないと考えている。